

< 令和3年度における府債発行の振り返り >

○ 発行計画の減額対応 (7,600億円 → 6,950億円)

- ・ 第20回大阪府財務マネジメント委員会で示した大阪府債発行計画(案)において、臨時財政対策債(※1)に係る大阪府への公的資金の配分額は未確定であったため、公的資金の配分額を α とし、配分額が確定後フレックス枠で調整することとした。
- ・ その後、公的資金は約650億円配分されたことから、結果としてフレックス枠での発行額は750億円となった。
- ・ フレックス枠を活用して発行する予定の外貨建て国内債(150億円(※2))は現在、市場条件が整うタイミングを見計らっており、発行期限である2月末までの発行を目指す。なお、発行ができない場合には、円建て債への振替発行等により対応。

(※1) 地方一般財源の不足に対処するため、投資的経費以外の経費にも充てられる地方財政法5条の特例として発行される地方債

< 第20回大阪府財務マネジメント委員会(令和3年7月28日)時点 >

(単位:億円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	合計	
市場公募債	10年	200	200	200	200	200	200	1,200	200	200	200	200	200	200	1,200	5,400	
	5年	200	200	200	200	200	200	1,200	200	200	200	200	200	200	1,200		
銀行等引受債	証券 5年	100						100	100						100		
	証書	200						200	200						200		
フレックス枠		1,400 - α															1,400 - α
共同発行債	10年	800															800
合計																7,600 - α	



< 最終見込み >

(単位:億円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	合計	
市場公募債	10年	200	200	200	200	200	200	1,200	200	200	200	200	200	200	1,200	5,400	
	5年	200	200	200	200	200	200	1,200	200	200	200	200	200	200	1,200		
銀行等引受債	証券 5年	100						100	100						100		
	証書	200						200	200						200		
フレックス枠		300					300	600					150(※2)		150		750
共同発行債	10年	100	100			100	100	400	100	100		100	100		400		800
合計																6,950	

(※2) 当初、200億円程度の発行を予定していたが、公的資金の配分があったことから、150億円程度に減額した。